

2月26日本会での意見及び3月18日提出の意見書に対する回答

- ・区政会議では、ここ数年出席率が低下し不成立になることがあるという課題があり、区政会議の活性化に向けて運営改善について検討してきました。
- ・委員の皆さまにはお忙しい中出席いただき、委員の皆様の負担感を減らし出席率を向上させるために、本会と部会を同日開催とすることで会議の回数を減らすことなく開催日数を減らすことなどについて、検討を進めてきました。
- ・視察を行った他区との比較検討を行ったところ、本会と部会を別々に開催している区、部会を設置せずに本会だけを行っている区、また本会と部会を同日開催している区があり参考としました。
- ・11月に開催した委員改選後初の区政会議については、まず本会にて、議長・副議長選出を行う必要があり、そののち部会での議長・副議長選出を経て、議題についての意見交換を行う必要があったことから、従来どおり委員改選時の運用である同日開催としました。
- ・会議時間については、委員の皆様の出席しやすい午後7時から開催し、委員アンケートでもっとも希望の多い2時間を目安に、その中で2つの部会に分かれて率直で自由な意見交換をしていただく部会時間を確保することで、本会は30分の設定となったものです。
- ・また、11月に同日開催したところ本会の出席率が大幅に改善されたため、委員の皆様の負担軽減を考慮し、2月の区政会議も同日開催としました。
- ・本会では前回の部会での意見内容の共有を主に行い、そののち、部会での専門的な分野に分かれての実質的な意見交換をしていただき、いただいた意見に対しては区から回答するとともに、議題である運営方針への反映も適宜行っており、現在の運用は条例等の主旨に反するものではないと考えています。
- ・区政会議は、様々な方法により、区民の多様な意見を把握し、施策等へ反映させるための取組の中でも基本的なものと位置付けられています。先般の市会質疑でも、双方向の取組となるような工夫として、部会でのワークショップ形式での意見交換が事例として挙げられています。この主旨にも沿ったものとして、説明や報告に多くの時間を割くのではなく、部会での活発な意見交換をふまえて本会で意見発表をいただく形で、皆様の負担を増やすことなく会議に参画いただき、引き続き効果的な運営を図ってまいりたいと考えています。
- ・区政会議については、今後も各委員の出席状況や意見交換などの状況を確認し、引き続き多くの委員の皆様から広く意見をいただきながら運営してまいりたいと考えています。